

花の苑タイムズ

二〇一七年も残すところ半月ほどとなり、今年一年も地域交流に取り組み中、地域の皆様とのあたたかな触れ合いや感動的な出会いがありました。とりわけ交流イベントでは、多くのボランティアの皆様に大変お世話になり、様々なジャンルの音楽や芸能を通じ、たくさん励ましのエールを頂戴致しました。深く感謝すると共に来年も又、宜しくお願い致します。



写真で綴る交流イベント2017

平成29年 12月10日 発行
第39号

〒370-0002
高崎市日高町433-1
TEL:027-329-7211

社会福祉法人健全会
特別養護老人ホーム
高崎花の苑広報委員会



「地域交流作品展」

地域交流スペースで現在、新高尾公民館・和紙ちぎり絵の会の皆様十名による作品十点が展示中です。時期は一月十日まで。地域の皆様のご来場をお待ちしています。

06 和紙ちぎり絵の会



想い出散策記

施設周辺の街路樹も深紅に色付いた晩秋十一月のある日の午後、三号館安藤昌子様、志田恭子様お二人が、クラシックコンサート鑑賞で前橋市民文化会館にお出掛けになりました。(写真)

今回のコンサートは、安藤様のご主人が団長を務める群馬シテイフィルハーモニーオーケストラの第五十九回定期演奏会で、フルート奏者でもあ



るご主人のソロ演奏も予定されていたことから、施設の音楽好き仲間でもあり、音楽に造詣が深い志田様と共に出席が実現したものでした。

群馬シテイフィルは、結成後、第一回演奏会より三十年を数え、本年五



「運営推進会議」

第四回運営推進会議が十一月二十四日行われ、事業推進状況が報告された他、地域包括ケアシステムについて高齢者あんしんセンターMWS日高北・島崎智洋センター長から説明がありました。



いきいきサロン

十一月十五日に上日高公民館で行われた上日高地区「いきいきサロン」にて、当施設職員の林寛美生活相談員が「地域で暮らす施設とは」と題し講話を行いました。



季節折々の歌

(三号館Gユニット 須永 清様)

- 師の下駄も すり減る 様な 年の暮れ 三度の飯を 二度にして迄
- 年の暮れ 何が何でも いう前に 又来る春を 待つて下さい
- 下足番 ご機嫌いかが 狸ちゃん 賑やか過ぎて 少しばて気味

※(すこやか生活日誌は 今月は休止します)

月、記念公演としてブッチーニ作曲オペラ「トスカ」を上演し、好評を博しました。

この日の演奏会のプログラムは、ブラームス作曲大学祝典序曲、ショパン作曲ピアノ協奏曲第一番、チャイコフスキー作曲交響曲第五番等でお二人とも長丁場の演奏をお元気に鑑賞され、芸術の秋に相応しい充実した時間と想い出を刻むたのしい一日を過ごされました。

ユニットたより

「誕生会での「コマ」

十一月の行事では、誕生月の吉田正美様と石山正一様のお誕生を利用者様と共に盛大に祝いました。

今回の誕生祝いに用意したのは、お二人へのプレゼントと皆様で召し上がっていただくためのコーヒージェリーとプリンでした。以前の行事で準備不足であった反省を生かし、今回は段取り良くお出しすると、「今日は速かったね。ご苦労様。まあ美味しそう！」とさすがに反応があり、職員もまずはひと安心。誕生会も盛り上がったところで主役の吉田様よりお祝いのお返しということで、ご本人十八番（おはこ）の歌、「星の流れに」と



「黒百合の歌」二曲を披露してくれました。（写真）お祝いの席などでよく歌うそうで、この日も絶賛の拍手を浴びていました。

（Aユニット・ショートステイ K）

「パンケーキに挑戦」

Dユニットでは毎月様々なユニット行事を開催してありますが、今回はパンケーキ作りに挑戦しました。職員が中心となって段取りを行う中、利用者様も「私も手伝うよ」と積極的にお手伝いして頂きました。

生地に入れる卵は黄身と卵白を別々にし、卵白は一度泡立て器にかけることよってふあふあなパンケーキになるようにひと工夫しました。

また、焼く際にもお店のように丸い綺麗な形になるよう職員が丸い型を持ってきて焼きました。焼きあがったパンケーキには、バター、生クリーム、はちみつなどご自分で好きなものをトッピングして召し上がって頂き



ました。

利用者様と力を合わせて挑戦した今回のパンケーキづくり。「美味しいね！」と口々に笑みを浮かべて楽しまれている様子を拝見し、職員も大変満足でした。

（Dユニット S）

「かるた取りに熱中」

十二月に入り寒さも益々本格的になりました。群馬名物の空っ風を後目に、Gユニットでは「いろは・上毛かるた」が流行中。この二つのかるたはこのほど入職したK職員が「皆様に馴染みがある」と思っており、持ってきてくれた物です。

久し振りのかるたを前にして「懐かしいねえ、出来るかな」と松本様。職員が「猫に小判」となると札を読み上げると、穏やかな空気が一変し、

皆様真剣な眼差しに。「り」や「き」など聞き取りづらい言葉がいくつ

かあるので間違えて取ってしまった。「あれ？これは違うかな？」と四苦八苦する場面もありました。

そんな中でも石原様はかるた取りが得意で、職員が探すよりも先に「あつたよ、はいっ！」と声を上げる確に札を入手する名手です。他の利用者様が驚いていると「私は目がいいから」と遠慮がちにおっしゃっていました。

また、高い集中力と瞬発力の成せる技だと感心しました。

「昔は『を』の事を重たい『を』と呼んだんだよ。今の人は知っているかな？」と教えて下さった石原様。ちなみに『を』の札は「老いては子に従え」で「その通りだね」と



と皆で大笑い。寒さも忘れたひとときでした。

（Gユニット T）

「室内ガーデニング」

Bユニットではこのほど、室内ガーデニングを設置しました。入口脇の小さなものですが、現在季節の花、シクラメン、ジュリアン、ポインセチア、パンジー、ストック等々植えてあります。利用者様をはじめ、面会者など関係者の皆様に楽しんで頂けたら幸いです。

また、リビングにおいてはクリスマス飾りを開始し、近づくクリスマスに備えています。

これから寒さが厳しくなり、B・Cユニットの皆様が体調など崩さないよう、万全の態勢で臨んでいきたいと思っております。

（B・Cユニット S）



編集後記

★私は帰宅途中でその日の振り返りをします。反省点がたくさんあり、少しずつ答えを見つけていきたいです（K）★気が付けばもう十二月。年々日にちが過ぎるのが早く感じられるようになりました（S）★先日のカンブラーメン行事の「コマ」。普段小食の利用者様が大変喜んでおられたのには驚きでした（N）★パンケーキのイベントには職員の娘さんも来られ、一緒に作業をされ、利用者様とも交流されていました（S）★Gユニットではクリスマス会の企画考案中。何にしようか考える事も楽しいですね（T）★花の苗が届き、さみしかったプランターもまた華やかになりました。★「花はいいね」と皆様嬉しそうです（S）★来年、「花の苑タイムズ」は五十号の佳節を迎えます。地域交流紙として、その重みを感じながら更に実質的な地域交流を進めていきます（N）